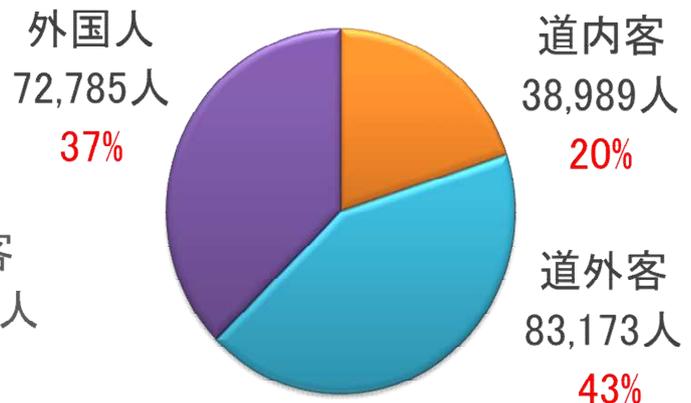
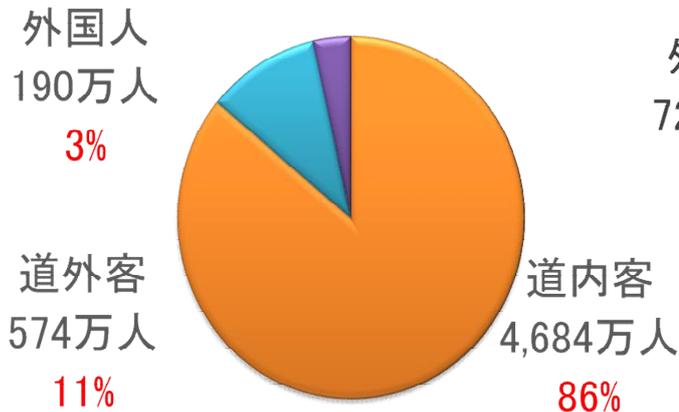


課題～北海道内の機運醸成

北海道とアイヌ民族博物館を訪れる方々の現状(平成27年度)

北海道観光入込客数
約5,400万人
(うち、道内者約4,700万人)

アイヌ民族博物館来館者数
約20万人
(うち、道内者約4万人)



➡ 北海道民に親しまれてこそ、**象徴空間は日本の誇り**となる

8

課題～北海道内の機運醸成

1st Step

- 北海道で培われたアイヌ文化に興味を持ち、その素晴らしさを知ろう！
- アイヌ文化やアイヌ語地名を知ることにより、北海道の成り立ちの理解を深めよう！

例えば… ・アイヌ語やアイヌ語地名、アイヌの歴史や文化を調べる
・アイヌ資料がある博物館・資料館へ出かける

⇒ **普段接していたものにも新たな発見が！**

2nd Step

- アイヌの方々との交流を深めよう！
- アイヌの方々やアイヌ文化を応援しよう！

例えば… ・アイヌ関連のイベントに参加する ・イタ・アットウシ等アイヌ文化の所産を使ってみる
・アイヌの方々活躍している地域を訪れ、交流する

⇒ **直接ふれあうことにより、アイヌの方々の気持ちが伝わる**

3rd Step

- 象徴空間周辺の賑わいづくりや、周辺の観光地との連携に参加しよう！
- アイヌ文化が根ざす北海道を海外に発信しよう！

例えば… ・CSRの一環としてアイヌ文化支援を位置付け(コーポレート・パートナー、ボランティア、ファンド・レイジング)
・「イランカラッテ」キャンペーンにサポーター企業として参加する

⇒ **アイヌ文化の復興へ寄与**

9

課題～北海道内の機運醸成(「イランカラプテ」キャンペーンの展開状況)

アイヌやアイヌ文化に対する国民の理解を促進するための施策の一環として、アイヌ語の挨拶「イランカラプテ」(こんには)を、北海道のおもてなしのキーワードとして普及させることを目指す「イランカラプテ」キャンペーンを民学官の連携により平成25年度から展開。

平成26年度及び平成27年度は、「観光」を切り口とした取組、平成28年度は、「観光」に加え「メディア」を活用した取組をそれぞれ展開。

◆観光を切り口とした取組

〔アイヌ文化財団、北海道空港(株)〕

○新千歳空港展示スペースの拡充・リニューアル

北海道空港(株)のご協力の下、北海道のゲートウェイである新千歳空港(国際線ターミナル)における展示の拡充・リニューアルを実施し、北海道を訪れる観光客に対する情報発信をより一層強化(H28,8)。



◆メディアなどを活用した取組(アイヌ文化財団)

○2016年度マンガ大賞を受賞した「ゴールデンカムイ」に描かれる世界をデジタル原画とパネル、アイヌ民具の展示で紹介

【道新プラザ】10/4～8@札幌 1,287名来場

【地下歩行空間】12/23～25@札幌 3,532名来場

【KITTE東京シティアイ】1/17～19@東京 8,377名来場

【アイヌ文化交流センター】1/20～26@東京 707名来場



中川裕 千葉大教授(作品のアイヌ語監修ご担当)によるトークイベント(札幌・道新プラザ)



KITTE東京シティアイにおける展示の様子

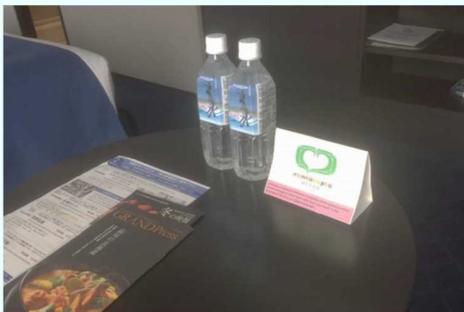
10

課題～北海道内の機運醸成(「イランカラプテ」キャンペーンの展開状況)

◆イベント・講演会等を通じた発信等〔札幌市、第8回札幌アジア冬季競技大会組織委員会〕

○2017冬季アジア札幌大会における各種の取組

2017冬季アジア札幌大会において、関係者が宿泊するホテル各室へのウェルカムカードの用意、アイヌの伝統的手法による聖火の採火、札幌市役所ロビーにおけるカムイノミの実施(秋元市長、大会関係者が参列)、札幌ドームでの開会式におけるアイヌ伝統舞踊の披露等、国内外から札幌を訪れた方にアイヌ文化を紹介(H29,2)。



ホテル各室のウェルカムカード



採火式(H29.2.5さっぽろ雪まつり大通公園5丁目ステージ)



カムイノミ(H29.2.6札幌市役所1階ロビー)



開会式(札幌ドーム)におけるアイヌ伝統舞踊の披露(H29.2.19)
※写真はサロリンリムセ(鶴の舞)の様子

11

課題～北海道内の機運醸成(「イランカラプテ」キャンペーンの展開状況)

◆「イランカラプテ」キャンペーンイメージソングの活用〔北海道〕

- 平成28年5月から、新井満氏、秋辺デボ氏制作の「イランカラプテ」～君に逢えてよかった～をキャンペーンイメージソングとして採用。
- 道庁本庁舎や各総合振興局・振興局での庁内放送や、道や関係団体等が主催する行事・イベントなどにおいて活用。

【平成28年度における取組】

- ・キャンペーンイメージソング庁内放送
- ・道内各種イベントでのキャンペーンイメージソングの放送
- ・キャンペーンイメージソングCDを官民応援ネットワーク構成員などに配布
- ・高橋北海道知事、新井満氏、秋辺デボ氏、トワエモワ、白老町の小学生などによる合唱動画の制作及びYouTubeへ公開



【合唱動画撮影風景】



【イメージソング】



【YouTube QRコード】

秋辺デボ

1969年 阿寒町温泉にアイヌとして生まれる。5年歳、ユーカラウ舞の舞本舞出、民族音楽の経営者、ロックバンドの歌、アイヌ舞踏家、高校「アイヌ学」の臨時教員、阿寒アイヌ民族共同組合専務理事など様々なジャンルで活躍中。「千の風になって」、アイヌ語バージョンを発表し、ハリウッド映画「青さねる空」には俳優として出演。アイヌコタン編織の総合プロデューサーでもある。

新井満

1946年 新井市生まれ。音楽家、作詞作曲家、長野県オリジナル音楽祭のイメージ監督など多方面で活躍中。作家としては「専断人の時間」で芥川賞受賞。作者不詳の英語詩を翻訳した写真詩集と、それに曲を付け自ら歌唱したCD「千の風になって」は現在もロングセラーを続けている。岡田でレコード大賞作曲賞を受賞。「希望の光」、「自由の光」方志記、「この町で」など数曲、CD多数。

課題～北海道内の機運醸成(「イランカラプテ」キャンペーンの展開状況)

◆キャンペーンのサポーター企業の取組

【 サポーター数： 団体135、個人113(H29.5.1現在) 】

【サッポロビール(株)、イオン北海道(株)、マックスバリュ北海道(株)】

飲料缶に「イランカラプテ」キャンペーンロゴマークをあしらったオリジナルデザイン缶「北海道のごちそう缶」を平成28年5月に限定発売。また、平成29年1月には「北海道冬のまつり缶」を限定発売。



北海道のごちそう缶



北海道冬のまつり缶

◆キャンペーン推進協議会構成員による創意工夫

【国土交通省北海道開発局】

国営滝野すずらん丘陵公園での子どもむけイベント「森フェス2017winter」において、ムックリ演奏やアイヌの外遊び(シカ皮滑り)体験を実施。



(いずれも国営滝野すずらん丘陵公園HPより)



◆その他の取組

○「民族共生象徴空間」のPRポスターの作成



【「イランカラプテ」キャンペーン推進協議会】



【民族共生象徴空間交流促進官民応援ネットワーク】

○政府インターネットテレビによる情報発信

【内閣官房アイヌ総合政策室】

「徳光・木佐の知りたいニッポン」(H29.2放送)
*番組URL: <http://nettv.gov-online.go.jp/prg/prg14854.html>

徳光・木佐の知りたいニッポン～イランカラプテ アイヌ文化とその心に残る音楽



北海道内の経済社会に望むこと

- 民族共生象徴空間オープンを契機に、食と自然ばかりでなく、**歴史と文化をも誇りとする**北海道に進化してほしい。
- 先住民族アイヌが紡いできた歴史と文化に目を向け、そこから新たなものを創造していく。
- 北海道の独自性を追求することで、北海道が世界で輝く存在となる。
⇒民族共生象徴空間を、そのシンボルにしてほしい。
- アイヌの文化・伝統に根ざしたコンテンポラリーなカッコイイものを生活の隅々に。
⇒2020年までに、そして将来にわたって。